# NEC

## Express5800 シリーズ

# ESMPRO<sup>®</sup>/AutomaticRunningController

Ver4.0

UL1046-D01

セットアップカード

このたびは ESMPRO/AutomaticRunningController Ver4.0をお買い上げ頂き、誠にありが とうございます。

本書は、お買い上げ頂きましたセットの内容確認、セットアップの内容、注意事項を中 心に構成されています。 ESMPRO/AutomaticRunningController Ver4.0をお使いになる前に、 必ずお読みください。

Windows Server<sup>®</sup> 2008 R2、Windows Server<sup>®</sup> 2008、Windows<sup>®</sup> 7、Windows Vista<sup>®</sup>、Windows<sup>®</sup> XP、

Windows<sup>®</sup> 2000、Windows Server<sup>®</sup>2003、Microsoft<sup>®</sup> は米国 Microsoft Corporation の米国および その他の国における登録商標です。

ESMPRO<sup>®</sup>は日本電気株式会社の登録商標です。

CLUSTERPRO®は日本電気株式会社の商標です。

Smart-UPS, PowerChute<sup>®</sup>は、American Power Conversion Corporationの登録商標です。

## 目次

第1章	製品内容	
第2章	セットアップの準備	5
2.1	ESMPRO/AutomaticRunningController のセットアップ環境	5
2.2	ESMPRO/AutomaticRunningControllerの構成例	7
第3章	セットアップの方法	
3.1	ESMPRO/AutomaticRunningControllerのインストール	9
3.2	ESMPRO/AutomaticRunningControllerのアンインストール	
3.3	ESMPRO_AC環境ウィザードによる設定	
3. 3.	.1 ESMPRO/AutomaticRunningControllerの動作環境の設定(環境設定ウィザードボタン)	
3. 3.	. 2 PowerChute plus連邦時の設定情報の削除(「設定情報を元に戻す」ボタン)	
3. 3.	.3 マルチサーバ構成の設定(「マルチサーバの構成の設定」(ANCの起動)ボタン)	
3.4	ライセンスキーの登録	
第4章	注意事項	
4.1	セットアップ関連	
4.2	運用関連	
4.3	PowerChute <i>plus</i> 連携與重	
4.4	ESMPRO/UPSManager(PowerChute Business Editionセット)連携與車	
4.5	通言ポート番号関連	
4.6	共有フォルダ関連	
4.7	AC-LINK関連	
第5章	障害発生時ごは	
5.1	ESMPRO/AutomaticRunningControllerログ	
5.2	イベントログ	
5.3	クラスタシステムでのログ採取時の注意	
5.4	ESMPRO/UPSManagerのログ採取	
5.5	ESMPRO/UPSControllerのログ採取	
5.6	PowerChute <i>plus</i> のログ採取	
5.7	PowerChute Business Editionのログ採取	
5.8	ノシ━ジョン情報	
5.9	SMPカードからの情報采取	
5. 9.	.1 SMPカードの情報 (A)	
5. 9.	.2 SMPカードの情報 (B)	

## 第1章 製品内容

ESMPRO/AutomaticRunningController Ver4.0のパッケージの内容は、次の通りです。 まず、添付品が全部そろっているかどうか、確認してください。

1部

- ソフトウェアライセンスキー
   1部
- ・ ソフトウェアのご使用条件
- ・ ESMPRO/AutomaticRunningController Ver4.0 について 1部

## 第2章 セットアップの準備

ESMPRO/AutomaticRunningController をご使用になるためには、コンピュータの環境を準備していただく必要があります。本章の要件を満たした後にESMPRO/AutomaticRunningControllerのセットアップを実行してください。セットアップの方法は、第3章で詳しく説明しています。

### 2.1 ESMPRO/AutomaticRunningController のセットアップ環境

ESMPRO/AutomaticRunningControllerをセットアップするためには、次の環境が必要です。

ハードウェア

<サーバ>

•	対象機種	: Express5800シリーズ
•	メモリ	: 3. 0 M B 以上
•	固定ディスクの空き容量	: 6. 0 M B 以上
•	HW/BIOS機能(*)	: UPSを使用しない構成でWOL (WakeOnLAN) 機能を
		使ってサーバのリモート起動、リモートシャット
		ダウンを利用する場合は、WOL(WakeOnLAN)機能

(\*)

サーバ本体HWが提供する機能を利用するため、機種によっては機能が提供されていない場合があります。

電源OFFが可能なサーバ

を実装しているサーバOSのシャットダウンで、

例えば、BIOS設定項目で WakeOnLAN機能を有効にしたサーバであっても、Windows 2000等ACPIサポートOSでのシャットダウン状態からの「WakeOnLANによるサーバ 起動機能」は「HW的に無効な仕様」の機種があります。

Express5800/110Ef、120Ee、120Rd-2等がこれに該当します。

これらの環境は、リモート起動を含め、自動運転の起動機能は実現できません。 また、スタートメニューなどからのシャットダウンの起動にてサーバの電源が OFFされないサーバでは、自動運転の停止機能の場合にも同様に電源がOFFできま せん。この場合には、その後の自動起動も出来ません。

これらの機能制限は、サーバ本体のHW仕様等に依存するため、導入の際には、予め使用するサーバ本体HWおよびOSを確認してください。

(同一装置であってもBIOSのバージョンに依存する場合もあります。)

- ※ PowerChute *plus*、ESMPRO/UPSManager(PowerChute Business Edition)と連携 して自動運転を行う場合にはSmart-UPS相当無停電電源装置が必要になります。
   Smart-UPS相当無停電電源装置とサーバの接続方法や運用方法は、Smart-UPS 相当無停電電源装置添付の取扱説明書を参照してください。
- ※ ESMPRO/UPSControllerと連携して自動運転を行う場合には、多機能UPS が必要 になります。多機能UPSとサーバの接続方法や運用方法は、多機能UPS添付の取 扱説明書をご覧ください。

<クライアント>

- 対象機種 : PC98-NXシリーズ、PC-AT互換機、Express5800シリーズ
- ・ メモリ
- : 2. 0MB以上
- 固定ディスクの空き容量: 3.0MB以上

ソフトウェア

<サーバ>

• O S

Windows 2000 Advanced Server/Server/Professional
Windows XP Professional
Windows Server 2003 Standard Edition/Enterprise Edition/Datacenter Edition/Small Business Server
Windows Server 2003 R2 Standard Edition/Enterprise Edition/Small Business Server
Windows Vista Business
Windows Server 2008 Standard Edition/Enterprise Edition
Windows 7 Professional
Windows Server 2008 R2 Standard Edition/Enterprise Edition

連携ソフトウェア

[ESMPRO/UPSController連携による自動運転]

:ESMPRO/UPSController(Windows 2000版)

[PowerChute plus連携による自動運転]

- : PowerChute *plus*(Ver5.1.1J以降)
- : UPSS1eepオプション (PowerChute *plus*日本語版の無料オプション)

[ESMPRO/UPSManager (PowerChute Business Editionセット)連携による自動運転]

- : ESMPRO/UPSManager(PowerChute Business Editionセット) \*1
- :UPSSleepオプション
- :SNMPサービス

\*1 既に PowerChute Business Editionを導入済みの場合は、 ESMPRO/UPSManager CoreKit Ver2.0以降が必要です。

マルチサーバ構成で運用する場合は、ESMPRO/AC Enterprise または ESMPRO/AC Advance をインストールしてください。

#### <クライアント>

#### • 0 S

Windows 2000 Advanced Server/Server/Professional
Windows XP Professional/Home Edition
Windows Server 2003 Standard Edition/Enterprise Edition/Datacenter Edition/Small Business Server
Windows Server 2003 R2 Standard Edition/Enterprise Edition/Small Business Server
Windows Vista Business
Windows Server 2008 Standard Edition/Enterprise Edition
Windows 7 Professional
Windows Server 2008 R2 Standard Edition/Enterprise Edition

※ ESMPRO/AutomaticRunningControllerは、Smart-UPS相当無停電電源装置を制御 する場合にはESMPRO/UPSManager(またはPowerChute plus) または ESMPRO/UPSManager (PowerChute Business Editionセット)と連携し、多機能UPS を制御する場合にはESMPRO/UPSManager または ESMPRO/UPSControllerと連携 します。サーバには、使用する無停電電源装置に応じて適切な制御ソフトウェ アをあらかじめセットアップしておいてください。

最新の動作環境については、下記サイトでご確認ください。 ESMPRO/AutomaticRunningController(http://www.nec.co.jp/esmpro\_ac/)

## 2.2 ESMPRO/AutomaticRunningController の構成例



(2) Smart-UPS構成 (UPSシリアル接続)



PowerChute Business Edition の両方が必要

(3) Smart-UPS (SNMP) 構成 (UPS LAN接続)



(4) 多機能UPS構成 (UPSシリアル接続)



- ・自動運転を行うサーバには多機能 UPS が接続され、ESMPRO/AutomaticRunningController で自動運転制御を行います。
- ESMPRO/AutomaticRunningController をインストールするサーバには、Smart-UPS 相当無停電電源装置を使用する場合は、ESMPRO/UPSManager(または PowerChute *plus*) または ESMPRO/UPSManager (PowerChute Business Edition セット)、多機能 UPS を使用する場合は、ESMPRO/UPSController を、あらかじめインストールしておく必要があります。
- ・複数サーバでマルチサーバ構成を組む場合の構成例は、ESMPRO/AC Enterprise、ESMPRO/AC Advance (共にオプション製品)の資料をご参照ください。

## 第3章 セットアップの方法

## 3. 1 ESMPRO/AutomaticRunningController のインストール

- AdministratorもしくはAdministrator権限のあるユーザでコンピュータにログオンし、ラベル に『ESMPRO/AutomaticRunningController CD 1.0』と記載されているCD-ROMをCD-ROMドライブ にセットします。
- (2) CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。

ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品t	2ットアップ	
動作を選択		
	0 774	シストール
ー シストール/アンインストールを実施する製品を選択し、	チェックをつけてくださ	, ì <sub>o</sub>
は、既にインストールされている製品には、製品名の後ろ	に〇印が付いています	す。
サーバ系製品群 クライアント系製品群		
製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	4.0	×
ESMPRO/AC Enterprise	4.0	×
ESMPRO/AC Advance	4.0	×
□ESMPRO/ACBlade 管理オブション	4.0	×
□ESMPRO/AC MSCSオプション	4.0	×
■ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション	4.0	×
□ESMPRO/AC Advance マルチサーバオブション	4.0	×
□ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプション	4.0	×
実行		終了

- (3) 「ESMPRO/AutomaticRunningController」のセットアップには「サーバ系製品」と「クライアン ト系製品」があります。
  - ◆ ESMPRO/AutomaticRunningControllerのサーバ系製品をインストールする場合、「動作を選択」 のラジオボタンで「インストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中から ESMPRO/AutomaticRunningControllerを選択し、チェックを有効にします。

◎ インストール	0 771	ンストール
		۱
ら、既にインストールされている製品には、製品名の後ろにO印が付いています。		
バ系製品群 クライマ・ル 系刺品群 1		
	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	4.0	×
ESMPRO/AC Enterprise	4.U	×
]ESMPRO/AC Advance	4.0	×
]ESMPRO/ACBlade 管理オブション	4.0	×
]ESMPRO/AC MSCSオプション	4.0	×
JESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション	4.0	×
]ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション	4.0	×
]ESMPRO/ACBlade マルチサーバオブション	4.0	×

サーバ系製品群タブの中から、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのチェックを有効にした 場合、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのオプション製品(ESMPRO/AC Enterprise、 ESMPRO/AC Advance等)も同時に選択可能となり、順次インストールすることができます。  ◆ ESMPRO/AutomaticRunningControllerのクライアント系製品をインストールする場合、「動作 を選択」のラジオボタンで「インストール」を選択したあと、クライアント系製品群タブの 中からESMPRO/AutomaticRunningControllerを選択し、チェックを有効にします。

餐 ESMPRO/AutomaticRunningController関連調	製品セットアップ	×
┌ 動作を選択		
◎ インストール	0 アンイ	ンストール
インストール/アンインストールを実施する製品を選択	えし、チェックをつけてください	۱,
なお、既にインストールされている製品には、製品名の	)後ろに〇印が付いています	t.
サーバ系製品群 クライアント系製品群		
製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	4,0	×
ESMPRO/AC Enterprise	4.0	×
ESMPRO/AC Advance	4.0	×
□ESMPRO/ACBlade 管理オブション	4.0	×
実行	Ť	冬了

- (4)「実行」ボタンを選択します。
- (5) 選択した製品のインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

ESMPRO/AutomaticRunningController セットアップ	×
以下製品のインストール処理を行います。 よろしいでしょうか? <サーバ系製品> ESMPRO/AutomaticRunningController Ver4.0	
(はい(Y) いいえ(N)	

(6) サーバ系製品を選択した場合、ライセンスキーの入力が促されますので、ライセンスキーを入力し、「OK」ボタンを選択します。

ESMPRO/AC関連製品セットアップ	×
次の製品のソフトウェアライセンスキーに記載 てください。	載されているライセンスキーを入力し
ESMPRO/AutomaticRunningController	Ver4.0
-	-
ОК	キャンセル

(7)入力したライセンスキーが認証されると、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのセットアップ が開始されますので、「次へ」ボタンを選択します。

ESMPRO/AutomaticRunningCon	troller ሂታኑፖታን*	×
	ESMPRO/AutomaticRunningController セットアッフ°へようこ そ	
	このプログラムは、ESMPRO/AutomaticRunningController を コンピュータにインストールします。このセットアップ゚プログラムを実行する前に、 すべてのWindowsプログラムを終了することを推奨します。	
	< 戻る(B) 次へ (N)> キャンセル	

(8)続いて、インストール先を選択します。表示されているフォルダとは別のフォルダにインスト ールする場合は、「参照」ボタンをクリックしてインストール先のフォルダを選択します。 インストール先が決定したら、「次へ」ボタンを選択します。

ESMPRO/AutomaticRunningController セットアッフ*	×
<b>インストール先の選択</b> ファイルをインストールするフォルダを選択します。	A.
セットアッフでは、)次のフォルタでこ ESMPRO/AutomaticRunningController をインストールします。	
このフォルダへのインストールは、D欠へ]ホタンをクリックします。	
別のフォルダヘインストールする場合は、「参照]ボタンを夘ックしてフォルダを選択してください。	
ーインストール先のフォルダーー C:¥Program Files¥AUTORC	参照(R)
(R) 次へ (N)	<u>++&gt;tell</u>

- (9) ファイルの転送が開始されます。
- (10) 次の画面が表示されたら、インストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。

ESMPRO/AutomaticRunningCon	troller ቒታኑፖታን*
	InstallShield Wizard の完了 セットアップでは、コンビュータへのESMPRO/AutomaticRunningControllerの インストールを完了しました。フログラムを使用する前に、コンビュータを再起動し てください。
	< 戻る(B) <b>完了</b> キャンセル

(11) 最初の画面に戻り、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのインストール済欄に〇が表示され ていることを確認します。

🗞 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品	品セットアップ	×
45.//- 女:221-10		
「動力をつきれ		
© 772F-11	0 771	ンストール
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、	. チェックをつけてくださ!	<u>)</u>
		•• +
なお、既にインストールされている製品には、製品名の後	うこし日の何いています	- o
サーバ系製品群(クライアント系製品群)		
製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	4.0	0
ESMPRO/AC Enterprise	4.0	×
ESMPRO/AC Advance	4.0	×
□ ESMPRO/ACBlade 管理オブション	4.0	×
■ESMPRO/AC MSCSオプション	4.0	×
ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション	4.0	×
ESMPRO/AC Advance マルチサーバオブション	4.0	×
□ESMPRO/ACBlade マルチサーバオブション	4.0	×
I		
実行	Ť	終了

#### <u>注意</u>

- 引き続き、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのオプション製品(ESMPRO/AC Enterprise、 ESMPRO/AC Advance、ESMPRO/ACBlade 管理オプション、ESMPRO/AC MSCS オプション)をインス トールする場合は、Setupac.exe からのインストール作業を続行してください。インストール 後は、Setupac.exe を終了してシステムを再起動してください。
- バージョンアップセットアップの場合は、上記(6)~(8)の手順が省かれ、インストールが実行されます。インストール先を変更することはできません。また、バージョンアップセットアップでは、これまでの運用で設定した情報を保持したまま、モジュールのコピーを行います。
- ESMPRO/UPSControllerやPowerChute plus、ESMPRO/UPSManager(PowerChute Business Edition) と連携して運用する場合は、必ず「ESMPRO\_AC 環境ウィザード」で動作環境の設定を行ってく ださい。
   バージョンアップセットアップおよび上書きインストールの場合も、同様ご設定を行ってください。
- セットアップの実行中に<終了>及び<キャンセル>ボタンを押すと、セットアップ中止の確認のメ ッセージが表示されます。そのメッセージボックスで<終了>ボタンを押すと、セットアップ は中止されます。その場合、途中まで転送されたファイルの削除は行われませんのでご注意く ださい。

#### UL1046-D01

## 3. 2 ESMPRO/AutomaticRunningController のアンインストール

#### 注意

- 対象サーバに ESMPRO/AutomaticRunningControllerのオプション製品 (ESMPRO/AC Enterprise、 ESMPRO/AC Advance、ESMPRO/ACBlade 管理オプション、ESMPRO/AC MSCS オプション)がインス トールされている場合は、先にそれらの製品のアンインストールを実行します。(方法につい てはオプション製品のセットアップカードを参照してください。)
- PowerChute *plus*と連携して自動連応行っている場合は、「3.3.2 PowerChute *plus*連携時の設定情報の 削除(「設定情報を元に戻す」ボタン)」の作業を実施します。
- 対象サーバに CLUSTERPRO がインストールされている場合は、CLUSTERPRO のサービスを停止します。(CLUSTERPRO サービスの停止方法については、CLUSTERPRO のマニュアルを参照してください。)
- インストールを行ったAdministratorもしくはAdministrator権限のあるユーザでコンピュー タにログオンし、ラベルに『ESMPRO/AutomaticRunningController CD 1.0』と記載されている CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。
- (2) CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。

		· - · ·
© HUZE-N	0 アンイ	ンストール
ストール/アンインストールを実施する製品を選択し、	、チェックをつけてください	, 1 <sub>0</sub>
、既にインストールされている製品には、製品名の後	ろに〇印が付いています	t.
-バ系製品群 クライアント系製品群		
製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	4.D	0
ESMPRO/AC Enterprise	4.0	×
ESMPRO/AC Advance	4.0	×
□ESMPRO/ACBlade 管理オブション	4.0	×
TESMPRO/AC MSCSオブション	4.0	×
		~
□ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション	4.0	~
□ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション □ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション	4.0 4.0	×

- (3) 「ESMPRO/AutomaticRunningController」のセットアップには「サーバ系製品」と「クライア ント系製品」があります。
  - ◆ ESMPRO/AutomaticRunningControllerのサーバ系製品をアンインストールする場合、「動作を 選択」のラジオボタンで「アンインストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中か らESMPRO/AutomaticRunningControllerを選択し、チェックを有効にします。

◎ インストール	© 771	ンストール
	チェックをつけてください	۱.
既にインストールされている製品には、製品名の後ろ	ろに〇印が付いています	F.
「「系製品群」クライア、小系製品群」		
	バージョン	インストール済
SMPRO/AutomaticRunningController	40	0
LSMPRO/AC Enterprise	4.U	×
]ESMPRO/AC Advance	4.0	×
]ESMPRO/ACBlade 管理オブション	4.0	×
]ESMPRO/AC MSCSオブション	4.0	×
]ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション	4.0	×
]ESMPRO/AC Advance マルチサーバオブション	4.0	×
]ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプション	4.0	×
	1.2	

 ◆ ESMPRO/AutomaticRunningControllerのクライアント系製品をアンインストールする場合、 「動作を選択」のラジオボタンで「アンインストール」を選択したあと、クライアント系製 品群タブの中からESMPRO/AutomaticRunningControllerを選択し、チェックを有効にします。

SMPRO/AutomaticRunningController関連	製品セットアップ	
助作を選択		
○ インストール	© アンイ	ンストール
レストール/アンインストールを実施する製品を選択	尻し、チェックをつけてください	۱۰
お、既にインストールされている製品には、製品名の	り後ろに〇印が付いています	•
ナーバ系製品群 クライアント系製品群		
	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	4.0	0
ESMPRO/AC Enterprise	4.0	×
ESMPRO/AC Advance	4.0	×
■ESMPRO/ACBlade 管理オプション	4.0	×
実行	Ť	冬了

(4)「実行」ボタンを選択します。

(5) 選択した製品のアンインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

ESMPRO/AutomaticRunningController セットアップ 🗾	×
以下製品のアンインストール処理を行います。 よろしいでしょうか? <サーバ系製品> ESMPRO/AutomaticRunningController Ver4.0	
(はい(Y) いいえ(N)	

(6) インストーラが起動され、もう一度確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択しま す。



- (7) ファイルの削除が行われます。
- (8) 次の画面が表示されたら、アンインストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。



(9) 最初の画面に戻り、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのインストール済欄に×が表示され ていることを確認します。

◎ インストール	⊙ アンイ	シストール
トール/アンインストールを実施する製品を選択し、	チェックをつけてください	, 1 <sub>0</sub>
既にインストールされている製品には、製品名の後ろ	に〇印が付いています	t.
バ系製品群 (クライアント系製品群)		
製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	4.0	×
ESMPRO/AC Enterprise	4.0	×
ESMPRO/AC Advance	4.0	×
ESMPRO/ACBlade 管理オブション	4.0	×
ESMPRO/AC MSCSオブション	4.0	×
ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション	4.0	×
ESMPRO/AC Advance マルチサーバオブション	4.0	×
ESMPRO/ACBlade マルチサーバオブション	4.0	×

(10) アンインストール後は、Setupac. exe を終了してシステムを再起動してください。

## 3.3 ESMPRO\_AC環境ウィザードによる設定

「ESMPRO\_AC環境ウィザード」により、ESMPRO/AutomaticRunningControllerの動作環境の設定を行う必要があります。

ESMPRO/UPSController、PowerChute *plus* または ESMPRO/UPSManager (PowerChute Business Edition) と連携して自動運転を行う場合は、本設定を行う前に連携ソフトウェアをインストールしておく必要 があります。

「ESMPRO\_AC 環境ウィザード」を起動するには、「スタート」-「プログラム」-「ESMPRO\_AutomaticRunningController」より、「ESMPRO\_AC 環境ウィザード」を選択してください。



#### 3.3.1 ESMPRO/AutomaticRunningControllerの動作環境の設定(環境設定ウィザードボタン)

「環境設定ウィザード」ボタン(図の①)を押すと、環境設定ウィザードが起動されます。 以下、環境設定ウィザードにおける、連携ソフトごとの設定項目を表す記号を示します。実際に運 用する環境に該当する項目のみご参照ください。

- □ PowerChute plus と連携して自動運転を行う場合の設定項目
- ◎ PowerChute Business Edition と連携して自動運転を行う場合の設定項目
- ESMPRO/UPSController と連携して自動運転を行う場合の設定項目
- Δ UPS を使用せずに自動運転を行う場合の設定項目

Step1

- □ PowerChute *plus* と連携して Smart-UPS 相当無停電電源装置で自動運転を行う場合は、 "PowerChute *plus* と連携して自動運転を行う"を選択します。
- ◎ ESMPRO/UPSManager(PowerChute Business Edition セット)と連携して Smart-UPS 相当無停 電電源装置で自動運転を行う場合は、 "PowerChute Business Edition と連携して自動運 転を行う"を選択します。

PowerChute Business Edition がインストールされていない場合、Step1の画面には、 PowerChute Business Editionの選択肢は表示されません。

- ESMPRO/UPSController と連携して多機能 UPS で自動運転を行う場合は、
   "ESMPRO/UPSController と連携して自動運転を行う"を選択します。
- △ UPS を使用せずに自動運転を行う場合は、 "UPS を使用せずに自動運転を行う"を選択 します。

選択が完了したら、「次へ」ボタンを押します。

#### Step2

□ Step1 で "PowerChute *plus* と連携して自動運転を行う" を選択した場合、PowerChute *plus* のユーザ通知に関する情報を設定します。

PowerChute *plus* でのイベント発生時(:イベントアクション)のユーザ通知機能を無効に する場合は PowerChute *plus* のユーザ通知をなしにする"を選択します。

PowerChute *plus* のユーザ通知機能を現状の設定のままで自動運転を行う場合は、 "PowerChute *plus* のユーザ通知を残したまま、自動運転を行う"を選択します。

◎ Step1 で "PowerChute Business Edition と連携して自動運転を行う"を選択した場合、 PowerChute Business Edition と連携させるために必要なソフトウェア及びサービスがイ ンストールされているかどうかが表示されます。連携を行うのに必要なすべてのソフトウ ェア及びサービスがインストールされていれば、SNMP サービス及び ESMPRO/UPSManager サ ービスとの接続確認を行うことができます。それらの接続が成功した場合は Step3 に進み ます。 (注意)

以下のソフトウェアが、未インストールまたはサービス停止中の場合、 以降の作業を行うことができません。

PowerChute Business Edition エージェントサービス UPSSleep.exe (PowerChute Business Edition オプション) ESMPRO/UPSManager サービス SNMP サービス

<SNMP サービスとの接続確認>

OS のサービスマネージャより、SNMP サービスの「プロパティ」->「セキュリティ」 ->「受け付けるコミュニティ名」に登録したコミュニティ名を入力して、 「接続確認」ボタンを選択して、接続確認を行います。

<ESMPRO/UPSManager サービスとの接続確認> 「接続確認」ボタンで、ESMPRO/UPSManager サービスとの接続確認を行います。

 Step1 で "ESMPRO/UPSControllerと連携して自動運転を行う"または "UPSを使用せず に自動運転を行う"を選択した場合はStep3に進みます。

選択が完了したら、「次へ」ボタンを選択します。

Step3

これまでの設定内容が表示されます。

「完了」ボタンを選択すると、ESMPRO /AutomaticRunningController の動作環境の設定作業 は終了です。

□ PowerChute *plus* 連携の場合は、連携前の設定情報が至MPRO/AutomaticRunningControllerの内部情報として組み込まれ、新たにESMPRO/AutomaticRunningController)連携のための設定が PowerChute *plus* に行われます。 PowerChute *plus*でコマンドファイル実行機能を使用していた場合には、その設定情報も取り込まれます。使用していたコマンドファイルの変更や削除が必要になった場合には、「3.3.2 PowerChute *plus*連携時の設定情報の削除(「設定情報を元に戻す」ボタン)」を行い、変更したいコマンドファイルの設定を確認・変更してから、改めてESMPRO/AutomaticRunningControllerとPowerChute *plus*の連携設定を行ってください。

「完了」ボタンを押すと、ESMPRO/AutomaticRunningController サービスが再起動され、 「ESMPRO\_AC環境設定ウィザード」の設定内容が変更されます。

#### 3.3.2 PowerChute plus 連携時の設定情報の削除(「設定情報を元に戻す」ボタン)

「設定情報を元に戻す」ボタン(図の②)を押すと、ESMPRO/AutomaticRunningController 連携の設 定情報が削除され、PowerChute *plus*の設定が連携前の設定に戻ります。

ESMPRO/AutomaticRunningController をアンインストールする際には必ず設定情報の削除を行って ください。設定情報の削除を行わずにアンインストールを実行すると ESMPRO/AutomaticRunningControllerをインストールする前の環境に戻すことができません。

#### 3.3.3 マルチサーバ構成の設定(「マルチサーバの構成の設定」(AMC の起動)ボタン)

ESMPRO/AC Advance がインストールされている場合は、「マルチサーバ構成の設定(AMC の起動)」 ボタン(図の③)を押すと、「AC Management Console」が起動されます。

## 3.4 ライセンスキーの登録

以下の条件でESMPRO/AutomaticRunningController関連製品をインストールした場合、ライセンス キー登録作業が必要です。

- ・ ESMPRO/AC Enterpriseをインストールして、ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション をインストールしたサーバを連動端末として使用する場合。
- ESMPRO/AC EnterpriseおよびESMPRO/ACBlade 管理オプションをインストールして、 ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションをインストールしたサーバを連動端末として使用す る場合。
- ・ ESMPRO/AC Advanceをインストールして、ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションをイン ストールしたサーバを連動端末として使用する場合。
- DeploymentManagerを使用して、ESMPRO/AutomaticRunningController、ESMPRO/AC Enterprise、 ESMPRO/ACBlade 管理オプションをインストールした場合。
- (1) [スタート] -> [すべてのプログラム] -> [ESMPRO/AutomaticRunningController] -> [ESMPRO\_AC ライセンス]を起動し、「追加」ボタンを選択します。

License Management Tool - ESMPRO/AC	×
ライセンスキーの追加/削除を行います。	ОК
104600 - 00000 - 601200	++>tell
	追加
	削除
ESMPRO/AutomaticRunningController Ver4.0	
管理サーバの登録ライセンス 	 N音み
ESMPRO/AC Enterprise ライセンス登録	諸子み
管理対象サーバの登録ライセンス合計	
IESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション 登録可能 ESMPRO/ACBlade マルチサーバオブション 登録可能台数 ESMPRO/AC Advance マルチサーバオブション 登録可能	6台数:0 台 (:0 台 台数:0 台

(2) ライセンスキーの入力画面が表示されますので、ライセンスキーを入力し、「OK」ボタンを選 択します。

License Management Tool - ESMPRO/AC	x
ソフトウェアライセンスキーに記載されているライセンスキーを入力 してください。	
OK キャンセル	

(3) 下図のように登録したライセンスキーが表示されていることを確認します。

License Management Tool - ESMPRO/AC	<u>×</u>
ライセンスキーの追加/削除を行います。	ок
1040001-000000-040340 1040100-000000-041378	キャンセル
	追加
	削除
×	
ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション Ver4.0 1ライセ	222
管理サーバの登録ライセンス	
 ESMPRO/AutomaticRunningController ライセンス登録済み ESMPRO/AC Enterprise ライヤンス登録済み	
管理対象サーバの登録ライセンス合計	
ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション 登録可能台数	(:1 台
ESMPRO/AC Advance マルチサーバオブション 登録可能台数:	0台
	<b>*</b>

## 第4章 注意事項

ESMPRO/AutomaticRunningController を使用する際には、次の点にご注意ください。

### 4.1 セットアップ関連

- 多機能 UPS を自動電源制御装置として使用するためには、「ESMPRO/UPSController」が必要ですので「ESMPRO/UPSController」のインストールを先に行ってください。
- (2) ESMPRO/ServerManager の統合ビューアから、ESMPRO/AutomaticRunningController ユーザ インターフェイスを起動する場合は、「ESMPRO/ServerManager」のインストールを先に行 う必要があります。

#### 4.2 運用関連

- (1) Windows サーバをご使用になる場合、コントロールパネルの「電源オプション」機能の「休止状態のサポート」はOFF(初期状態)にしてください。 「休止状態」になった場合、ESMPRO/AutomaticRunningControllerによるサーバの自動運転 は、制御不能になります。
- (2) 多機能 UPS をご使用の場合、自動運転実行中は AUTO/LOCAL スイッチは必ず AUTO の状態で ご使用ください。
- (3) 自動電源制御を行っている際は、サーバ本体のパワースイッチを使用して電源を切断しないでください。もしサーバ本体のパワースイッチにより電源切断を実行した場合、次回の電源自動投入は行われません。 手動により電源投入・切断を行う場合は、多機能 UPS の AUTO/LOCAL スイッチと、ON/OFF スイッチを使用するか、GUI によるシャットダウンかシャットダウンアイコンを使用してください。(Smart-UPS をご使用の場合は、ON/テストボタン で電源投入を行ってください。なお、Smart-UPS の OFF ボタン を押すと、シャットダウンが行われずにそのまま電源が切断されますので、ご注意ください。)

Smart-UPS相当無停電電源装置をご使用の際に本体サーバの0Sストール等が発生した場合は、以下の手順で行ってください。

- ① Smart-UPSのOFFボタンを押します。(ここで、本体サーバの電源がOFFされます。)
- ② Smart-UPSのON/テストボタンを押します。(ここで、本体サーバの電源が投入されます。)

本体サーバのOSストール等が発生し多機能UPSのAUTO/LOCALスイッチやON/OFFスイッ チに反応しない場合は、サーバのリセットスイッチにより復旧させるか、あるいは以 下の手順で多機能UPSのUPS ENABLEスイッチを操作してください。

- 多機能UPSのUPS ENABLE を OFF にします。(ここで本体サーバの電源が切断されます。)
- ② 多機能UPSのAUTO/LOCALスイッチをLOCAL にします。
- ③ 多機能UPSのUPS ENABLE を ON にします。
- ④ 多機能UPSの0N/0FFスイッチを1秒程度押下します。(ここで本体サーバの電源 が投入されます。)
- ⑤ 多機能UPSのAUTO/LOCALスイッチを AUTO にします。
- (4) ESMPRO/AutomaticRunningController ユーザインターフェイスで行う操作は、 Administrator 権限のあるユーザでのみ行うことができます。
- (5) スケジュール作成でワイルドカードを使用した毎日設定を行う場合、あるいは、曜日指定 で一週間の連続運転を設定する場合には、通常指定は運転休止にすることを推奨します。
- (6) Windows Server 2008、Windows Vista 等の「ユーザーアカウント制御」機能が含まれる OS において、「ユーザーアカウント制御」を有効にしている場合、インストール時に起動する Setupac. exe や、ESMPRO/AutomaticRunningController の GUI を実行すると以下のような確 認ダイアログが表示される場合があります。「続行」ボタンを選択して起動してください。

ユーザー アカウント制御			
🕐 プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です			
あなたが開始したプログラムである場合は、続行してください。			
ESMPRO/AutomaticRunningController GUI NEC Corporation			
<ul> <li>✓ 詳細(<u>D</u>)</li> <li>続行(<u>C</u>)</li> <li>キャンセル</li> </ul>			
ユーザー アカウント制御は、あなたの許可なくコンピュータに変更が適用 されるのを防ぎます。			

- (7) 本バージョンの ESMPRO/AutomaticRunningController は、JIS2004 で新規追加された文字 に対応しておりません。そのため、インストール時のインストールパスや、GUI 操作におい て、JIS2004の新規追加文字が含まれるパス情報は指定、入力しないでください。
- (8) AC GUI や AC Management Console から、ユーザーアカウント制御機能を有効にしている Windows Server 2008、Windows Vista などの Windows OS ヘネットワーク接続する場合、 Administrator アカウントによるネットワーク接続が必要です。
- (9) Smart-UPS 相当無停電電源装置を使用してスケジュール運転を行っている環境で、 ESMPRO/AutomaticRunningControllerのシャットダウン以外でシャットダウンを行った

場合、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのスケジュール機能は有効になりません。 また、停電によるシャットダウンが行われ、スケジュール OFF 時刻経過後に復電により起動 してきた場合、スケジュール OFF 時刻は経過しているため、スケジュールによるシャットダ ウンは行われません。

「ESMPRO\_AC ヘルプ」情報の「ご使用にあたってのご注意」および「トラブルシューティング」 もご覧ください。「ESMPRO\_AC ヘルプ」はスタートメニューから起動することができます。

#### 4.3 PowerChute p/us 連携関連

- PowerChute *plus*と連携して自動運転を行う場合には、PowerChute *plus*(Ver5.1.1J以降) と UPSS1eep が必要になりますので、PowerChute *plus* と UPSS1eep のインストールを先に行 ってください。
- (2) PowerChute *plus* (Ver5.1.1J以降) をインストールする際には、必ず UPSSleep のインストール も 実行 してく ださい。 UPSSleep がインスール されていない場合、 ESMPRO/AutomaticRunningController の PowerChute *plus* 連携による自動運転を正常に実行することができません。
- (3) PowerChute *plus*やESMPRO/AutomaticRunningController をインストールしたあとで UPSSleep をインストールすると、PowerChute *plus*かESMPRO/AutomaticRunningController の設定情報がすべて削除されます。UPSSleep をインストールした場合は、必ず 「ESMPRO/AutomaticRunningControllerの動作環境の設定」を実施してください。
- (4) PowerChute plus 連携による自動運転が正常に行われない場合は、PowerChute plus のイン ストールディレクトリ下にある pwrchute. err ファイルを確認してください。 不具合が発生した日のシステムの起動時刻において、以下のような内容が記録されている 場合は障害回避手順を実施してください。

pwrchute.err ファイル

03/11/23 16:22:59 スクリプトファイル(C:¥AUTORC¥pcp\_cmd¥ac\_start.bat)が見つかりません。

#### 障害回避手順

- ① PowerChute *plus*を起動してください。
- ② 「構成」->「イベントアクション」を選択します。
- ③ イベント一覧から「UPS通信確立」を選択し、「コマンド ファイル実行」を 有効にします。
- ④ 「オプション」ボタンを押し、実行するコマンドファイルの設定を行います。

#### UL1046-D01

⑤ ESMPRO/AutomaticRunningControllerが登録している情報を以下のように変更してください。
 <変更前>
 %ESMPRO/AC のインストールフォルダ%¥pcp\_cmd¥ac\_start.bat
 <変更後>
 %PowerChute plusのインストールフォルダ%¥ac\_start.bat

設定情報を変更後、PowerChute plusを終了します。

- ④ ④の登録内容が有効になるように、ac\_start.batを⑤で記述している
   <変更前>の場所から、
   <変更後>の場所にファイルコピーしてください。
- ⑦ システムの再起動を行ってください。システム再起動後に、本設定内容が有効になります。

## 4.4 ESMPRO/UPSManager(PowerChute Business Edition セット)連携 関連

 ESMPRO/UPSManager (PowerChute Business Edition セット)と連携して自動運転を行う 動作環境を構築する場合は、以下のソフトウェアがインストールされている必要があり ます。

ソフトウェア名	インストール先
PowerChute Business Edition エージェント	ローカルコンピュータ
PowerChute Business Edition $\exists \mathcal{V} \mathcal{V} - \mathcal{N}$	ローカルコンピュータまたはリモートコンピュータ
PowerChute Business Edition サーバ	ローカルコンピュータまたはリモートコンピュータ
PowerChute Business Edition UPSSleep.exe	ローカルコンピュータ
(PowerChute Business Editionオプション品)	
ESMPRO/UPSManager Ver2.0以降 サーバ	ローカルコンピュータ
SNMP サービス	ローカルコンピュータ

- (2) 停電発生時のシャットダウン開始時間は、PowerChute Business Edition「コンソール」 から「デバイスのプロパティ」画面の「シャットダウン」 -> 「電源障害」 -> 「電源 障害時のシャットダウン開始」で設定してください。
- (3) スケジュールの設定は、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのみで行ってください。 PowerChute Business Edition「コンソール」では、設定を行わないでください。 PowerChute Business Editionでスケジュール登録すると、連携動作が正常に動作しま せん。

UL1046-D01

(4) 電源切断猶予時間とは、OS シャットダウン開始後、UPS 装置からの電源供給が停止するまでの時間についての設定項目になります。この設定値が短い場合、シャットダウン途中にUPS 装置からの電源供給が停止され、システムに重大な障害が発生する可能性があります。必ず、運用されているシステムに適した値になっているかを確認し、変更の必要がある場合は設定値を変更し、運用してください。 OS のシャットダウンに必要な時間はシステム毎に異なるため、設定値は実環境のサーバを使用して OS のシャットダウン時間を複数回計測し、その結果を十分に超える時間を設定してください。

<PowerChute Business Edition v.6.1 の場合>

「デバイスのプロパティ」画面の「シャットダウン」->「シャットダウンシーケンス」から「OS のシャットダウンに必要な時間」 に値を設定してください。

<PowerChute Business Edition v.7.0以降 の場合>

「デバイスのプロパティ」画面の「シャットダウン」->「シャットダウンシーケンス」から「シャットダウンシーケンスの設定」を選択した後に表示されるウィンドウの、「コマンドファイルの設定」画面(後述)の次の画面(バーグラフが表示される画面)にて、"OS"を選択した状態での「期間」の値で設定します。

(5) ESMPRO/AutomaticRunningController において、「電源異常切断時に登録ジョブを起動する」を有効にする場合には、PowerChute Business Edition 「コンソール」からの設定も行います。

<PowerChute Business Edition v.6.1 の場合>

「デバイスのプロパティ」画面から「シャットダウン」->「シャットダウンシーケンス」 を選択し、「OSのシャットダウン時に実行するコマンドファイルの選択」で default. cmd を指定してください。また、「コマンドファイル実行所要時間」には、 ESMPRO/AutomaticRunningController で設定した電源異常切断時に実行する登録ジョブが 完了するまでに必要な時間を設定してください。

<PowerChute Business Edition v.7.0以降 の場合>

「デバイスのプロパティ」画面から「シャットダウン」->「シャットダウンシーケンス」 から「シャットダウンシーケンスの設定」を選択した後に表示されるウィンドウの、「コ マンドファイルの設定」画面で default.cmd を指定してください。そして次の画面(バーグ ラフが表示される画面)にて、"コマンドファイル"を選択した状態で「期間」の値を、電 源異常切断時に実行する登録ジョブが完了するまでに必要な時間に設定してください。

- (6) ESMPRO/AutomaticRunningController において、「停電時のクラスタシャットダウン」を 有効にする場合には、上記(5)の手順と同様にコマンドファイルに default. cmd を設定しま すが、「コマンドファイル実行所要時間」または「"コマンドファイル"の期間」の値 に は、 ESMPRO/AutomaticRunningController で設定した停電時のクラスタシャットダウンの タイムアウト時間以上の値を設定してください。
- (7) PowerChute Business Editionの再インストールを行った場合は、PowerChute Business Editionの「コンソール」において、上記内容を再設定する必要があります。
- (8) PowerChute Business Edition の使用方法につきましては、PowerChute Business Edition に付属のマニュアルを参照してください。
- (9) Windows Server 2008 x64 環境または Windows Vista Business x64 環境にて「ESMPRO/AC 環境ウィザード」による ESMPRO/UPSManager(PowerChute Business Edition)連携設定を行

う場合、「環境設定ウィザード STEP2」の画面において SNMP サービスとの通信が失敗する 場合があります。 この現象が発生した場合は、環境ウィザードを終了して下記対処を実施後に再度環境ウィ

- (対処)
  - 1. エクスプローラにて ESMPRO/AC のインストールフォルダ配下の"DATA"フォルダに移動。
  - 2. 『AC\_PCBE. cfg』ファイルをメモ帳等のテキストエディタで開く。
  - 3. [SNMP]セクションの host の値を自サーバの IP アドレスに変更し、上書き保存。 【例】
    - [SNMP] host=172.16.1.17

### 4.5 通信ポート番号関連

使用するポート番号は、以下の通りです。

ザードによる連携設定を行ってください。

[ESMPRO/AutomaticRunningController]

(クラスタシステムの時に使用)

[クラスタサーバ] [クラスタサーバ]

不定/udp--->4000/udp

4000/udp <---不定/udp

(Client 監視機能を実行時、使用)

[サーバ] [クライアント]

3999/udp <---不定/udp

3999/udp --->3998/udp

[ESMPRO/AC Enterprise]

(AC Management Console 機能を使用した SNMP カードを使用するマルチサーバ構成)

[制御端末(マスタ)] [制御端末(マスタの控え)]

不定/udp--->6000/udp

6000/udp <---不定/udp

[制御端末] [連動端末]

不定/udp--->6000/udp

6000/udp <---不定/udp

[制御端末] [UPS]

不定/udp<-->161/snmp

162/snmp <----不定/udp</li>
[AC Management Console] [制御/連動端末]
不定/udp--->6000/udp
不定/udp
(iStorage S シリーズ/D シリーズ連携機能使用時)
[制御端末] [iStorage S/D シリーズ]
不定/tcp <--> 6001/tcp

[ESMPRO/AC Advance]、[ESMPRO/AC Blade 管理オプション]
[制御端末 (マスタ)] [制御端末 (マスタの控え)]
不定/udp--->4005/udp
[制御端末] [連動端末]
不定/udp--->4005/udp

[AC Management Console/AC GUI] [制御/連動端末]

不定/udp--->4005/udp

## 4.6 共有フォルダ関連

ESMPRO/AutomaticRunningController では、ネットワーク機能を提供するために、以下の共有 フォルダを設定しています。

フォルダ名	共有名	デフォルトのアクセス権
(インストールフォルダ)¥DATA	ARCDATA	Administrators フルコントロール

「ARCDATA」の共有フォルダは、GUIをサーバ以外からリモートで行う場合に使用します。サーバ上でのみ GUIを使用する場合には、この共有を解除しても問題ありません。

フォルダ名	共有名	デフォルトのアクセス権
(インストールフォルダ)¥CMSETUP	CMSETUP	Administrators フルコントロール

「CMSETUP」の共有フォルダは、LAN 投入・切断監視に Client 監視機能を使用する場合に、クライアントをセットアップするために使用します。Client 監視機能を使用しない場合には、この共有を解除しても問題ありません。

サーバの OS が Windows XP の場合、セキュリティの設定により他サーバからのネットワーク接続が不可となってしまうことがあります。その際には、[フォルダオプション]の[表示]にある[簡易ファイルの共有を使用する(推奨)]チェックを無効にして、簡易ファイルの共有インターフェイスを無効にする必要があります。これはWindows XP の制限事項になります。

## 4.7 AC-LINK 関連

UPS を使って自動運転を行う場合は、サーバ装置の BIOS の設定で、AC-LINK を「Power ON」に しておいてください。BIOS の設定変更の方法については、サーバにより異なりますので、サー バ本体添付のマニュアルを参照してください。

なお、AC-LINK は、サーバ機種により「After Power Failure」と記載されている場合があり ます。

## 第5章 障害発生時には

障害発生時には、お手数ですが、以下の情報を採取してください。

- ・ESMPRO/AutomaticRunningController ログ
- ・イベントログ
- ・ESMPRO/UPSManager のログ

(Smart-UPS または多機能 UPS のシリアルケーブル制御の場合のみ)

- ・多機能 UPS ログ(多機能 UPS 使用時のみ)
- ・ESMPRO/UPSController ログ (多機能 UPS 使用時のみ)
- ・PowerChute *plus*のログ (PowerChute *plus*連携による自動運転を行なっている場合)
- PowerChute Business Edition のログ (ESMPRO/UPSManager(PowerChute Business Edition セット)による自動運転を行なっている場合)
- ・バージョン情報
- ・SNMP カードからの情報採取 (Smart-UPS LAN 制御の場合のみ)

## 5. 1 ESMPRO/AutomaticRunningController ログ

(1) サーバのログ採取方法

■ESMPRO/AC GUI からのログ採取方法

サービスおよび GUI の動作不良のため、ESMPRO/AC GUI からの操作でログ採取できない場合 があります。その場合は、後述の「■手動によるログ採取方法」を参照してください。

①ESMPRO/AutomaticRunningController メインメニューのサーバボタンを選択すると、以下の サーバ指定ダイアログが表示されます。

サーノ	が指定	×
	サーハ*名 ESM/PC MAINTE 💌	
	□ 停止中の指定サーバを、リモート起動する	

②サーバ指定ダイアログのサーバ名のところに、

ESM/PC MAINTE

と入力し、OK ボタンを選択すると、以下のメンテナンスダイアログが表示されます。

わう	<b>テナンス</b>	2	<
	ログ情報採取	ロク	
	OK	キャンセル	

③「ログセーブ開始(S)」ボタンを選択してください。ログ採取が開始されます。ログ採取が 終了すると、以下のダイアログが表示されます。

ログ採取正常終了メッセージ



#### <u>ログ採取異常終了メッセージ</u>



上記のエラーメッセージが表示された場合、既にログファイルが存在することが考えられます。 ESMPRO/AutomaticRunningController インストールディレクトリ下の DATA¥LOG 下にログファイルが存在する場合は、ファイルを退産するか削除して、再度①からの操作をやり直してください。

④採取されたログのファイルは、ESMPRO/AutomaticRunningController インストールディレクトリ下の DATA¥LOG 下に置かれます。

エクスプローラ等により、DATA¥LOG ディレクトリごと FD 等の媒体に採取してください。 DATA¥LOG 下に採取されるファイルは、採取するタイミング/状態によって異なります。

- ・スケジュールの有効期間が長い場合、登録するスケジュール項目が多い場合などは、ログファイルのサイズが大きくなります。
- 注意:ESMPRO/AutomaticRunningController と ESMPRO/AC Enterprise がインストールされて いる場合は、DATA¥LOG ディレクトリ下のログファイル以外に以下のログファイルも FD 等の媒体に採取してください。

ESMPRO/AutomaticRunningController インストールディレクトリ¥CGI¥DATA ディレクトリ下の ファイルすべて

■手動によるログ採取方法

①エクスプローラ等を使用してください。

- ②ESMPRO/AutomaticRunningController インストールディレクトリ¥data ディレクトリ下のすべてのファ イルを採取してください。
- ③ESMPRO/AutomaticRunningController と ESMPRO/AutomaticRunningController Enterprise がインストールされている場合は、②のファイル以外に下記ファイルを採取してください。 ESMPRO/AutomaticRunningController インストールディレクトリ¥CGI¥DATA ディレクトリ下のファイル すべて。
- (2) Client 監視を行っているクライアントのログ採取方法 Client 監視で不具合が発生した場合は、(1)のログの他に Client 監視機能をセットアップし

た Client 側のコンピュータから Client 監視機能インストールディレクトリ (規定値: CMODULE) 下の下記情報ファイルを FD 等の媒体に採取してください。

ACNETSVR. LOG	
ACNETSV. APC	
CLIENTD. APC	
ONJOBO. APC	
:	連動サーバ数によってファイル数が異なります。
ONJOB7. APC	

### 5.2 イベントログ

- ◆Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003 の場合
- ① [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [管理ツール] のイベントビューアを 起動します。
- ②ツリーでアプリケーションログを表示させ、【操作】を指定し、【ログファイルの名前を付 けて保存】を選択します。
- ③ファイル名をつけて保存ダイアログが表示されたら、ファイル名エディットボックスにログ セーブファイル名を入力して「保存ボタン」を選択してください。ログがセーブされます。
   ④セーブしたファイルを FD 等の媒体に採取してください。

⑤同様にして、システム (ツリーでシステムログを指定)のイベントログも採取してください。 ◆Windows Server 2008/Windows Vista の場合

- ①[スタート]→[コントロールパネル]→[管理ツール]のイベントビューアを起動します。
- ②[Windows ログ]のツリーでアプリケーションログを表示させ、【操作】を指定し、【イベントに名前を付けて保存】を選択します。
- ③ファイル名をつけて保存ダイアログが表示されたら、ファイル名エディットボックスにログ セーブファイル名を入力して「保存」ボタンを選択してください。ログがセーブされます。
   ④セーブしたファイルをFD 等の媒体に採取してください。

⑤同様にして、システム(ツリーでシステムログを指定)のイベントログも採取してください。

#### 5.3 クラスタシステムでのログ採取時の注意

クラスタシステム構成で自動運転を行っていて、障害が発生した場合は、クラスタを構成するす べてのサーバで障害情報を採取してください。その場合、現用系、待機系の区別を明記しておいて ください。

## 5.4 ESMPRO/UPSManager のログ採取

ESMPRO/AutomaticRunningController での障害の際に、自動運転に関する障害で Smart-UPS が原因 と思われる障害が発生した場合は、ESMPRO/AutomaticRunningController で採取する情報以外に UPS 関連のログ情報も必要となりますので、あわせて採取をお願いいたします。

UPS 関連ログ情報の採取方法につきましては、ESMPOR/UPSManagerの資料を参照ください。

### 5.5 ESMPRO/UPSController のログ採取

ESMPRO/AutomaticRunningController での障害の際に、自動運転に関する障害で多機能 UPS が原因 と思われる障害が発生した場合は、ESMPRO/AutomaticRunningController で採取する情報以外に UPS 関連のログ情報も必要となりますので、あわせて採取をお願いいたします。 UPS 関連ログ情報の採取方法につきましては、ESMPOR/UPSControllerの資料を参照ください。

## 5.6 PowerChute plusのログ採取

ESMPRO/AC での障害の際に、PowerChute *plus* 連携による自動運転を行なっている場合は、 ESMPRO/AC で採取する情報以外に PowerChute *plus* のログ情報も必要となりますので、あわせて採 取をお願いいたします。

PowerChute plusのログ情報の採取方法につきましては、PowerChute plusの資料を参照ください。

## 5.7 PowerChute Business Edition のログ採取

ESMPRO/AC での障害の際に、ESMPRO/UPSManager (PowerChute Business Edition セット)による自動 運転を行なっている場合は、ESMPRO/AC で採取する情報以外に PowerChute Business Edition のログ 情報も必要となりますので、あわせて採取をお願いいたします。

PowerChute Business Edition のログ情報の採取方法につきましては、PowerChute Business Edition の資料を参照ください。

## 5.8 バージョン情報

障害発生時はログ以外に、アプリケーションのバージョン情報が必要です。 ESMPRO/AutomaticRunningControllerのバージョン情報は、以下の手順で取得できます。

- (1) ESMPRO/AutomaticRunningController GUI を起動します。
- (2) メニューバーの「ヘルプ」 → 「バージョン情報」を選択すると、バージョン情報が表示 されます。

🧟 ESMP	RO/AutomaticRunningController	×
運転(U)	設定(C) <mark>ヘルフ(H)</mark>	
	パージョン情報(A) リーハ*(S) パージョン情報(A) リ運転: 停止 開始 → UPS	
サ自自サ投切投切次EEESM	<ul> <li>※名</li> <li>第名</li> <li>第20RI-2</li> <li>第2行中</li> <li>第2行中</li> <li>なし</li> <li>※なし</li> <li>正常運転(Version 4.00)</li> <li>監視要因</li> <li>「監視時刻</li> <li>「監視時刻</li> <li>「監視時刻</li> <li>町の切断監視時刻</li> <li>PRO/JC連携</li> <li>PRO/JMSS連携</li> <li>OFF</li> </ul>	
	OK キャンセル シャットタッウン(D) ヘルフ°(H)	
パージョンド		
	ESMPRO/Automatic	
Auton Runn	RunningController Version 4.00	
See Con	Copyright(C)1996-2008 NEC Corporation	
	All Rights Reserved	

## 5.9 SNMP カードからの情報採取

なお、ご使用の Internet Explorer バージョンおよび Internet Explorer の設定によっては、フ アイルに保存する手順が一部異なる場合があります。手順の詳細はご使用の Internet Explorer の バージョンおよびヘルプ等をご確認ください。

(A)のログイン画面が表示された場合は「5.9.1 SNMPカードの情報(A)」を参照してくだ さい。

(B)のログイン画面が表示された場合は「5.9.2 SMPカードの情報(B)」を参照してください。

)	about-blank - Microsoft Internet Explorer	
-/		
	PFDXQU (@ http://1/2.16.1.231	I 🔁 🎼
	172.16.1.231 に接続 ?! 🗙	
	APC Management Card	
	ユーザー名(山):	
	パスワード(2):	
	「 パフワードを記憶する(8)	
	OK キャンセル	

(B)

🗿 APC   Log On – Microsoft Internet Explorer	_ 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルブ(H)	
🔇 戻る 🔹 🕤 💌 😰 🐔 🔎 検索 🌧 お気に入り 🕢 🎰 🌭 🕞	
アドレス(1) (1) http://17216.1.145/logon.htm	💌 🔁 移動 リンク 🔌
User Name: Password: Log On Reset CCCC	
	❷ 信頼済みサイト //

#### 5.9.1 SNMP カードの情報(A)

WebでSNMPカードに接続し、以下の情報を採取します。

①ステータス情報

②イベントログ情報

③データログ情報

④Access Control情報

(1) SNMP カードへの接続方法

①ブラウザを起動し、SNMPカードに接続します。

下記のようにSNMPカードのIP Addressを指定するとSNMPカードのログオン画面が表示されます。 (ログを採取するSNMPカードのIP Addressが172.16.1.231の場合)

http://172.16.1.231

ユーザ名とパスワードを入力してログオンしてください。

🗃 about:blank – Microsoft Internet Explorer	_ 0	×
ファイル(E) 編集(E) 表示(M) お気に入り(A) ツール(D) ヘルブ(H)	_	
🔾 戻る 🔹 🖸 🗾 🔄 🐥 🖄 検索 🥎 お気に入り 🜒 メディア 🤣 🎰 🍡 忌		
ア <sup>1</sup> の入図  (1) http://172.161.231	🔁 移	勭
		-
172161291(二连结) 21 又		
80 5		
APC Management Gard		
ユーザー名(山): 😰 🔽		
□ パスワードを記憶する(R)		
		-
どージ http://17216.1.231/を聞いています		1.

#### (2) 情報の採取方法

①Smart-UPSXXX ->status

左側のメニューで「Smart-UPSXXX」を選択し、「Status」選択します。

下記 Status 情報が表示されますので、メニューで[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、情報をファイルに保存してください。



②Events → Log

左側のメニューで「Events」を選択し、「ログ」選択します。

下記 Event Log 情報が表示されますので、メニューで[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、 情報をファイルに保存してください。



③データログ情報

左側のメニューで「Data」を選択し、「Log」を選択します。 下記Data Log情報が表示されますので、メニューで[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、情報をファイルに保存してください。

http://1/2.16.1.231/aral	dram.htm?//U									
										移動  9.
Network Management Card	Data Log									Da
	( Device Dat	a								
Smart-UPS 1500 RM			Smart-l	UPS 1500 R	м					
Fuents	Date	Time	Vmin	Vmax	Vout	%Wout	Freq	%Cap	Vbat	Tup
Events	04/25/2011	14:18:15	104.4	105.1	105.1	16.9	60.00	100.0	27.40	33.3
	04/25/2011	14:08:15	104.4	105.8	105.1	16.2	60.00	100.0	27.40	33.3
Carfarmeti	04/25/2011	13:58:15	104.4	105.1	105.1	16.9	60.00	100.0	27.40	33.3
Lopticut 2.011	04/25/2011	13:48:15	104.4	105.8	105.1	16.9	60.25	100.0	27.40	32.8
Network	04/25/2011	13:38:15	103.6	105.8	105.8	19.5	60.00	100.0	27.27	32.8
System	04/25/2011	13:28:15	103.6	104.4	104.4	16.9	60.00	100.0	27.40	32.4
Logout	04/25/2011	13:18:15	0.0	105.1	104.4	19.5	60.00	93.0	27.40	31.0
	04/25/2011	13:08:15	0.0	105.1	99.6	6.5	60.00	90.0	24.84	32.4
Help	04/25/2011	12:58:15	103.6	105.8	95.7	16.2	60.00	100.0	27.27	33.7
	04/25/2011	12:48:15	103.6	105.1	95.0	16.9	60.00	100.0	27.27	33.7
Links	04/25/2011	12:38:15	105.1	105.8	95.7	16.2	60.00	100.0	27.27	33.7
APC's Web Site	04/25/2011	12:28:15	104.4	105.8	96.4	16.9	60.00	100.0	27.27	34.2
Testdrive Demo	04/25/2011	12:18:15	104.4	105.8	95.7	16.2	60.00	100.0	27.27	34.2
APC Monitoring	04/25/2011	12:08:15	104.4	105.8	95.7	16.9	60.00	100.0	27.27	34.2
-	04/25/2011	11:58:15	104.4	107.2	96.4	16.2	60.00	100.0	27.27	34.2
	04/25/2011	11:48:15	104.4	107.2	95.7	17.5	60.00	100.0	27.27	34.2
	04/25/2011	11:38:14	105.8	107.2	0.0	3.9	60.00	100.0	27.27	34.2
	04/25/2011	11:28:14	105.8	107.2	0.0	3.9	60.00	100.0	27.27	34.2
	04/25/2011	11:18:14	105.8	107.2	0.0	3.9	60.00	100.0	27.13	34.2
	04/25/2011	11:08:14	105.1	106.5	0.0	3.9	60.00	100.0	27.27	34.2
	04/25/2011	10:58:14	105.8	106.5	0.0	3.9	60.00	100.0	27.27	34.2
	04/25/2011	10:48:14	105.8	107.2	0.0	3.9	60.00	100.0	27.27	34.2
	04/25/2011	10:38:14	105.8	107.2	0.0	3.9	60.00	100.0	27.27	33.7
	04/25/2011	10:28:14	105.1	107.2	0.0	3.9	60.00	100.0	27.27	33.3
	04/25/2011	10:18:14	104.4	107.2	0.0	3.9	60.00	100.0	27.40	33.3
		40.00.44	105.8	107.2	0.0	3.9	60.25	100.0	27.40	33.3
	04/25/2011	10:08:14	10010							

④NetWork → SNMP

左側のメニューで「NetWork」を選択し、「SNMP」選択します。

下記 Access Control 情報が表示されますので、メニューで[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、情報をファイルに保存してください。

🗿 APC Network Management Carc	l – Microsoft Internet Explorer		
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気	に入り(A) ツール(D) ヘルプ(H)		A
🔇 戻る 🔹 🕥 🔺 🗷 😰 🏠 🔎 検	索 👷 お気に入り 🕙 メディア 🥝	🖉 😓 🗖	
アドレス(D) 🙋 http://172.16.1.231/arakt	fram.htm?3:4		💌 🔁 移動
Network Management Card IP: 172.16.1.231 Smart-UPS 3000 RM Events Data Data	SNMP Access: Apply Cancel	Enabled 💌	Network
TCP/IP	Community Namo	NMS ID (Domain Namo	Accoss Tupo
DNS	public	172.16.1.1	Write+
FTP Server	public	0.0.0.0	Disabled 💌
Telnet/SSH	public	0.0.0.0	Disabled 💌
Email	public	0.0.0.0	Disabled 💌
Syslog Web/SSL WAP	Apply Cancel	receivers.	
System Logout			
			インターネット

#### 5.9.2 SNMP カードの情報(B)

WebでSNMPカードに接続し、以下の情報を採取します。

- ステータス情報
- ②イベントログ情報

③データログ

④access control情報

SNMP カードへの接続方法

①ブラウザを起動し、SNMPカードに接続します

下記のようにSNMPカードのIP addressを指定するとSNMPカードのログオン画面が表示されます。(ログを採取する SNMPカードのIP addressが172.16.1.145の場合)

http://172.16.1.145

ユーザ名とパスワードを入力してログオンしてください。

<ul> <li>▲ APC   Log On - Microsoft Internet Explorer</li> <li>ファイル(E) 編集(E) 表示(W) お気に入り(A) ツール(E) ヘルブ(H)</li> <li>④ 戻る ・ ④ ・ 図 (A) ・ 検索 会 お気に入り ④ (A)・ 込 日</li> <li>アドレフ(D) (A) いたい(4.7016.1145 (Journalist))</li> </ul>	_ [] X
PFU2@       http://17216.1145/logon.htm	▼ 移動 リンク ×
	 ■ 信頼済みサイト

(2) 情報の採取方法

(IUPS -> Status

「UPS」タブを選択し、「Status」を選択します。

下記 Status 情報が表示されますので、メニューで[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、情報をファイルに保存 してください。



 $@Logs \rightarrow Events \rightarrow log$ 

「Logs」タブを選択し、「Events」→「log」を選択します。

下記Event Log 情報が表示されますので、メニューで[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、情報をファイルに保存してください。



「Launch Log in New Window」ボタンを押すと、新しい画面が立ち上がりますので、ブラウザのメニューから[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、ファイルの種類で「Web アーカイブ、単一のファイル (\*.mht)」形式または「Web ページ、完全 (\*.htm,\*.html)」形式を指定して保存してください。

🖉 APC   Event Log - Windows Inte	net Explorer		
🕞 🕤 👻 🙋 http://172.16.1.145	/events.htm	💽 👉 🗙 Live Search	- <b>Q</b>
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気	に入り(色) ツール(エ) ヘルプ(出)		
新しいタブ(T) Ctrl 新規ウィンドウ(N) Ctrl	+T		
開(( <u>O</u> ) Ctrl	HO		<b>_</b>
編集(D) 上まき保存(s) Cr/	he local network management interface-to-UPS co	ommunication.	
名前を付けて保存( <u>A</u> )	k service started. System IP is 172.16.1.145 from	manually configured settings.	
タブを閉じる(C) Ctrl	+W irt.		
ページ設定(山)	power is turned off.	iti	
E印刷(P) Ctrl	Pre local network management interface-to-UPS concerning the service started. System IP is 172, 16, 1, 145 from	manually configured settings	
	irt.		
送信(E) インポートお上びエクフポート(1)	power is turned off.		
	he local network management interface-to-UPS co	ommunication.	
フロバテイ(R) オフライン/作業(W)	nt.		
終了(凶)	he local network management interface-to-UPS co	ommunication.	
08/12/2010 11:09:50 System:	Network service started. System IP is 172.16.1.145 from	manually configured settings.	
08/12/2010 11:09:50 System:	Coldstart.		
07/29/2010 20:44:54 UPS: The	output power is turned off.		
07/29/2010 20:44:32 0PS: Res 07/29/2010 20:44:31 System:	Vetwork service started. System IP is 172.16.1.145 from	n manually configured settings.	
07/29/2010 20:44:31 System:	Zoldstart.	, , , ,	
07/13/2010 20:31:34 UPS: The	output power is turned off.		
06/04/2010 10:45:01 System:	Coldstart.		
04/15/2010 16:38:07 UPS: The	output power is turned off.	ommunication.	
04/15/2010 16:37:44 System:	Vetwork service started. System IP is 172.16.1.145 from	nanually configured settings.	
04/15/2010 16:37:44 System:	Coldstart.		
04/05/2010 13:54:14 UPS: The	output power is turned off.		
04/05/2010 13:54:12 UPS: Res	ored the local network management interface-to-UPS co Network service started, System IP is 172-16-1-145 from	ommunication.	
04/05/2010 13:53:51 System:	Coldstart.	manually configured settings.	
12/14/2009 09:23:40 UPS: The	output power is turned off.		
11/30/2009 16:37:56 System:	Network service started. System IP is 172.16.1.145 from	manually configured settings.	
11/30/2009 16:37:56 System:	Coldstart.		
09/03/2009 20:19:42 UPS: The	output power is now turned on.		
09/03/2009 11:27:34 UPS: SNM	IP was used to issue a turn on command from 172.16.1.6	52.	
09/01/2009 18:37:34 UPS: The	output power is turned off.		
09/01/2009 09:31:53 UPS: The	output power is now turned on.		
09/01/2009 09:31:31 UPS: SNN 08/31/2009 19:49:22 UPS: The	was used to issue a turn on command from 172.16.1.1 output power is turned off.	10.	-
ページが表示されました			100% - //

#### ③ データログ情報

「Logs」タブを選択し、「Data -> log」を選択します。 Data log が表示されますので、「Data time」プルダウンメニューから「All Logs」を選択し、「Apply」を選択します。

APC   UPS Network Manager	ment Card - Windo	ws Internet	Explore	ar 👘		<b>.</b>		un Conret			_
• 10 http:////2.16.1						- <u>-</u>		ve searci			_
アイル(E) 編集(E) 表示(V)	お気に入り(A) ツー	N(I) ~NJ	?(H)								
r 🍄 🛛 🏉 APC   UPS Network	Management Card										
① 172.16.1.145									н	elp   Log Of	fG
Home UPS Log	gs Administra	ition									
										Vo Ala	rm
Events											
Events	Data Log										
reverse lookup	Data Time:	• Last	All Lo	as 💌							
Data		O From	<u> </u>		00.00	to 04/2	0/2011	09:23			
log		~ 11011	01/01	72000	00100	10 0 17 2	.0/ 2011	00120			
interval	Apply	Clear Data	Log	1	aunch l	.og in Nev	v Windo	w			
rotation			<b>c</b>								
Syslon	Date	Time	Vmin	Vmax	Vout	%Wout	Fred	%Can	Vhat	Tupe	
servers	04/20/2011	09:16:36	100.8	101.5	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	27.4	
settings	04/20/2011	09:06:36	100.0	101.5	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	27.4	
tect	04/20/2011	08:56:36	99.3	100.8	100.0	0.0	60.25	100.0	27.54	27.4	
(Cot	04/20/2011	08:46:36	100.8	101.5	100.8	0.0	60.25	100.0	27.54	27.0	
	04/20/2011	08:36:36	100.8	101.5	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	27.0	
	04/20/2011	08:26:36	100.8	102.2	101.5	0.0	60.00	100.0	27.54	26.5	
	04/20/2011	08:16:36	100.8	101.5	100.8	0.0	60.00	100.0	27.67	25.6	
	04/20/2011	08:06:36	100.8	102.2	101.5	0.0	60.00	100.0	27.67	25.6	
	04/20/2011	07:56:36	100.8	102.2	101.5	0.0	60.25	100.0	27.67	26.1	
	04/20/2011	07:46:36	100.8	102.2	100.8	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1	
	04/20/2011	07:36:36	100.8	101.5	100.8	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1	
	04/20/2011	07:26:36	100.0	101.5	101.5	0.0	60.25	100.0	27.67	26.1	
	0//20/2011	07-16-36	00.3	100.8	100.0	0.0	60.00	100.0	27.67	261	
										<u> </u>	
Link 1   Link 2   Link 3					UPS N	letwork	Manag	jemen	t Card	ΔΡ	d
		A11 1 1 1									19.12
© 1995 - 2008, American Pow	conversion Corp.	All rights res	erved.						ated: 04/	20/2011 at 0	21 2

「Launch Log in New Window」ボタンを押すと、新しい画面が立ち上がりますので、ブラウザのメニューから[ファイル] →[名前を付けて保存]を選択し、ファイルの種類で「Web アーカイブ、単一のファイル (\*.mht)」形式または「Web ページ、完全 (\*.htm,\*.html)」形式を指定して保存してください。

🖉 APC   Data Log - 1	Windows Internet	Explorer							
🕞 🕞 - 🙋 http	p://172.16.1.145/dat	a.htm				• + ×	Live Search		<u> </u>
ファイル(E) 編集(E)	表示(V) お気に入	り( <u>A</u> ) ツー	-ル(I) ヘル:	ŷ(Ш)					
新しいタブ( <u>T</u> )	Ctrl+T								
新規ウィンドウ (N)	Ctrl+N								
開<( <u>0</u> )	Ctrl+O	nart-U	JPS 1500						
編集(D)		nin	Vmax	Vout	%Wout	Freq	%Cap	Vbat	TupsC
上書き(条件(5)	Ctrl+5	00.8	101.5	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	27.4
石前を打けて1未存(音 方式を明いる/の)	i) Ciel i III	00.0	101.5	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	27.4
ダノを閉しる(5)	Ctri+w	9.3	100.8	100.0	0.0	60.25	100.0	27.54	27.4
ページ設定(U)		00.8	101.5	100.8	0.0	60.25	100.0	27.54	27.0
印刷(2)	Ctrl+P	00.8	101.5	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	27.0
印刷プレビュー(⊻)		00.8	102.2	101.5	0.0	60.00	100.0	27.54	26.5
送信(F)		00.8	101.5	100.8	0.0	60.00	100.0	27.67	25.6
インポートおよびエクス	(ポート(I)	00.8	102.2	101.5	0.0	60.00	100.0	27.67	25.6
15/0 1050015/	VI. 1 (g/	00.8	102.2	101.5	0.0	60.25	100.0	27.67	26.1
プロパティ( <u>R</u> )		00.8	102.2	100.8	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1
オフライン作業(W)		00.8	101.5	100.8	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1
終了(X)		00.0	101.5	101.5	0.0	60.25	100.0	27.67	26.1
04/20/2011	07:16:36	99.3	100.8	100.0	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1
04/20/2011	07:06:36	98.6	100.8	100.0	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1
04/20/2011	06:56:36	99.3	100.0	99.3	0.0	60.00	100.0	27.54	26.5
04/20/2011	06:46:36	99.3	100.8	99.3	0.0	60.00	100.0	27.54	27.0
04/20/2011	06:36:36	100.0	100.8	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	27.0
04/20/2011	06:26:36	100.0	100.8	100.0	0.0	60.00	100.0	27.54	27.0
04/20/2011	06:16:36	100.0	100.8	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	27.0
04/20/2011	06:06:36	100.0	100.8	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	27.4
04/20/2011	05:56:36	100.0	100.8	100.8	0.0	60.25	100.0	27.54	27.4
04/20/2011	05:46:36	100.0	100.8	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	27.4
04/20/2011	05:36:36	100.0	100.8	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	27.0
04/20/2011	05:26:36	100.0	100.8	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	26.5
04/20/2011	05:16:36	100.0	100.8	100.8	0.0	60.00	100.0	27.67	25.6
04/20/2011	05:06:36	100.8	100.8	100.8	0.0	60.25	100.0	27.67	26.1
04/20/2011	04:56:36	100.0	100.8	100.8	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1
04/20/2011	04:46:36	100.0	100.8	100.8	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1
04/20/2011	04:36:36	99.3	100.8	100.0	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1
04/20/2011	04:26:36	99.3	100.8	100.0	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1
ファイルとしてこのドキュメン	ットを保存します。								100%

※②Logs -> Events -> log、③Logs -> Data -> logともに、以下の方法で採取してくだ さい。

(保存方法その1)

Web ページの保存		?	Ľ
保存する場所型:	🗀 UPS Logs	🗾 🗿 🤣 🔛 -	
よび使ったファイル でで デスカトップ マイドキュメント マイ コンピュータ マイ ネットワーク	ファイル名( <u>N</u> ): ファイルの種類( <u>T</u> ):	複数の UPS の情報を採取 される場合は、ファイル 名を変更してください。 Web アーカイブ、単一のファイル (*.mht) (保存©) キャンセル	
	וא-בעד ( <u>ב</u> ):	Unicode (UTF-8)	

「Web アーカイブ、単一のファイル (\*.mht)」形式で保存する場合は、保存されるファイルが\*.mhtファイルのみになり ますので、通常はこちらを推奨致します。ただし、複数のUPSに関する情報を採取される場合は、ファイル名の頭に識別情報を付加するなどして、デフォルトのファイル名を変更して保存してください。

(保存方法その2)



「Webページ、完全(\*.htm,\*.html)」形式で保存する場合は、htmファイルとEvent Log.files\_という名前のフォルダが 作成されますので、その両方を送付してください。こちらについても、複数のUPSについて採取される場合は、ファイル名 の頭に識別情報を付加するなどして、デフォルトのファイル名を変更して保存してください。 (3)Administration -> Network -> access control

「Administration」タブを選択し、「Network」→「access control」を選択します。

下記Access Control 情報が表示されますので、メニューで[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、情報をファ イルに保存してください。

